

区分	予算額	決算額	差額 (決算 - 予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,508	3,558	49	(注1)
施設整備費補助金	2,158	1,332	825	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	172	290	118	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	30	40	10	(注4)
自己収入	2,592	2,560	31	
授業料、入学料及び検定料収入	2,441	2,411	29	(注5)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	151	148	2	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	236	642	406	(注7)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	8,696	8,424	272	
支出				
業務費	6,100	6,486	386	(注8)
教育研究経費	6,100	6,486	386	
診療経費	-	-	-	
施設整備費	2,188	1,372	815	(注9)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	172	419	247	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	236	423	187	(注11)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	8,696	8,702	5	
収入 - 支出	-	278	278	

## 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった「学長のリーダーシップの発揮」を更に高めるための特別措置枠及び「授業料等免除実施分」の特別運営費交付金と「退職手当」の特殊要因運営費交付金が追加交付されたことにより、予算額に比して決算額が49百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、環境放射能研究所の事業が翌年度に繰越となったこと等により、予算額に比して決算額が825百万円少額となっております。なお、決算額に前年度以前からの繰越額1,027百万円を含んでおります。
- (注3) 補助金等収入については、獲得に努めたため、予算額に比して決算額が118百万円多額となっております。
- (注4) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、予算段階では予定していなかった追加交付があったため、予算額に比して決算額が10百万円多額となっております。
- (注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者数及び受験者数が見込みより少なかったこと、(注1)に示した特別運営費交付金による授業料等免除実施や平成27年度に実施する入学試験において被災者を対象とした検定料免除を行ったこと等により、予算額に比して決算額が29百万円少額となっております。
- (注6) 雑収入については、主として科研費間接経費収入が見込みより多かったものの、講習料収入が見込みより少なかったこと等により、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。
- (注7) 予算段階では予定していなかった国(の各組織、特殊法人及び民間)からの受託研究等や奨学寄附金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が406百万円多額となっております。
- (注8) 業務費については、繰越となった運営費交付金事業や(注1)に示した特別運営費交付金及び特殊要因運営費交付金による執行等により予算額に比して決算額が386百万円多額となっております。なお、決算額に前年度以前からの繰越額437百万円を含んでおります。
- (注9) (注2)及び(注4)に示した理由等により、予算額に比して決算額が815百万円少額となっております。なお、決算額に前年度以前からの繰越額1,027百万円を含んでおります。
- (注10) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が247百万円多額となっております。なお、決算額に前年度以前からの繰越額151百万円を含んでおります。
- (注11) (注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が187百万円多額となっております。なお、決算額に前年度以前からの繰越額83百万円を含んでおります。